



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月9日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東
 コード番号 4576 URL <http://www.dwti.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長 (氏名) 上窪 彩子 (TEL) 052-218-8785
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の業績 (平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	50	33.3	△82	—	△82	—	△82	—
24年12月期第2四半期	37	—	△153	—	△151	—	△151	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	△4.10	—
24年12月期第2四半期	△8.62	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	790	—	775	—	—	98.1
24年12月期	467	—	452	—	—	96.4

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 775百万円 24年12月期 450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80	△28.9	△201	—	△202	—	△203	—	△10.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年12月期2Q	20,695,900株	24年12月期	18,141,400株
25年12月期2Q	—株	24年12月期	—株
25年12月期2Q	20,182,654株	24年12月期2Q	17,576,317株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における国内経済は、アベノミクス効果による期待感から円安株高が進むなど、景気回復の兆しが見られた一方で、株価の乱高下や長期金利の上昇などにより、不安定な状況が続いております。また、海外経済につきましては、米国の景気回復が堅調なものの、欧州の財政緊縮や中国の成長鈍化などにより、依然として不透明な状況が継続しております。

国内医薬品業界におきましては、高齢化の進行に伴う生活習慣病の増加等により、医薬品需要は増加傾向にあるものの、国の医療費抑制政策を反映し、薬価基準の引下げ、医療制度の見直しが進むなど、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況の下、当社は新薬の継続的な創出とパイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

ライセンスアウト済パイプラインにつきましては、ライセンスアウト先の興和株式会社により、抗血小板剤「K-134」の国内後期第Ⅱ相臨床試験及び緑内障治療剤「K-115」の国内第Ⅲ相臨床試験が実施されました。なお、緑内障治療剤「K-115」につきましては、国内第Ⅲ相臨床試験が終了し、試験結果の詳細な解析が進められております。

新規緑内障治療剤「H-1129」につきましては、日本を対象とする独占的開発権・販売権を、わかもと製薬株式会社に付与し、非臨床試験の開始に向けた準備が進められております。

また、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、「H-1129」バックアップ化合物となるリード化合物の選定を完了し、化合物最適化に向けた研究開発活動を行いました。

売上高につきましては、「H-1129」のライセンスアウト契約を締結したことにより、フロントマネー収入50百万円(前年同期比33.3%増)を計上しました。

利益面につきましては、研究開発費が51百万円(前年同期比43.8%減)、その他販売費及び一般管理費が81百万円(前年同期比3.0%減)であったことにより、販売費及び一般管理費は132百万円(前年同期比24.3%減)となりました。その結果、営業損失は82百万円(前年同期営業損失153百万円)、経常損失は82百万円(前年同期経常損失151百万円)、四半期純損失は82百万円(前年同期四半期純損失151百万円)となりました。

なお、当第2四半期累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下の通りです。

① 新薬候補化合物開発状況

(イ) ライセンスアウト済パイプライン

プロジェクト名	開発中の新薬(対象疾患)	開発段階	ライセンスアウト先
K-134	抗血小板剤 (閉塞性動脈硬化症)	国内後期第Ⅱ相臨床試験 米国前期第Ⅱ相臨床試験終了	興和株式会社
K-115	緑内障治療剤 (緑内障)	国内第Ⅲ相臨床試験終了	興和株式会社
H-1129	新規緑内障治療剤 (緑内障)	非臨床試験準備中	わかもと製薬株式会社

※HMN-214(抗癌剤)について：ライセンスアウト先の日本新薬株式会社により、海外ライセンスアウトが検討されておりますが、現時点でPhaseⅡa以降の臨床試験の計画は未定です。

(ロ) 新規開発品

プロジェクト名	開発中の新薬	開発段階
シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト	H-1129バックアップ化合物(緑内障治療剤)	リード化合物の選定完了
	眼科関連 神経系 循環器系 呼吸器系等	基礎研究

② 当期の業績の概況

(イ) 売上高、売上原価

売上高は「H-1129」ライセンスアウトにより、フロントマネー収入50百万円(前年同期比33.3%増)を計上しました。

(ロ) 販売費及び一般管理費、営業損失

a. 研究開発費

研究開発費は人件費の減少等により、51百万円(前年同期比43.8%減)となりました。

新規開発品につきましては、ドラッグ・ウエスタン法によって新規緑内障治療剤「H-1129」の標的タンパク質を同定し、ライセンスアウト契約を締結いたしました。また、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、「H-1129」バックアップ化合物となるリード化合物の選定を完了し、化合物最適化に向けた研究開発活動を実施しました。

なお、当社のパイプラインである「K-134」、「K-115」、「HMN-214」、「H-1129」の研究開発費は、ライセンスアウト先の資金により賄われており、当社において研究開発費負担は発生しておりません。

b. その他販売費及び一般管理費

その他販売費及び一般管理費は人件費の減少があったほか、経費削減に努めたこと等により、81百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

これらにより、営業損失は82百万円(前年同期営業損失153百万円)となりました。

(ハ) 経常損失、四半期純損失

営業外収益に試薬品収入1百万円を計上、営業外費用に株式交付費を1百万円を計上したこと等の結果、経常損失は82百万円(前年同期経常損失151百万円)、四半期純損失は82百万円(前年同期四半期純損失151百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末から322百万円増加し、790百万円となりました。主な要因は、前事業年度末に比べ現金及び預金が322百万円増加したこと等によるものです。

なお、総資産に占める流動資産の比率は当第2四半期会計期間末98.2%、前事業年度末96.9%です。

負債は、前事業年度末から0百万円減少し、15百万円となりました。

純資産は、前事業年度末から323百万円増加し、775百万円となりました。主な要因は、新株予約権の権利行使等により、資本金等の増加407百万円があったことによるものです。

なお、借入金や社債等の有利子負債残高はありません。

また、負債純資産合計に占める純資産の比率は当第2四半期会計期間末98.1%、前事業年度末96.7%です。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ77百万円減少し、165百万円となりました。

なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は81百万円(前年同期は160百万円の支出)となりました。これは主に税引前四半期純損失82百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は400百万円(前年同期は1百万円の支出)となりました。これは、定期預金の預入による支出があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は403百万円(前年同期は13百万円の収入)となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入403百万円があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の業績につきましては、平成25年3月29日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	423,778	745,875
有価証券	20,045	20,051
その他	9,263	10,464
流動資産合計	453,086	776,391
固定資産		
有形固定資産	5,477	5,027
無形固定資産	215	376
投資その他の資産	8,837	8,671
固定資産合計	14,530	14,075
資産合計	467,616	790,467
負債の部		
流動負債		
未払金	6,110	5,999
未払法人税等	3,750	3,620
その他	5,369	5,426
流動負債合計	15,230	15,045
負債合計	15,230	15,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,326,629	1,530,272
資本剰余金	1,316,629	1,520,272
利益剰余金	△2,192,332	△2,275,122
株主資本合計	450,925	775,421
新株予約権	1,460	—
純資産合計	452,386	775,421
負債純資産合計	467,616	790,467

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	37,500	50,000
売上原価	16,250	—
売上総利益	21,250	50,000
販売費及び一般管理費		
研究開発費	91,312	51,285
その他	83,661	81,142
販売費及び一般管理費合計	174,973	132,428
営業損失(△)	△153,723	△82,428
営業外収益		
試薬品収入	276	1,612
有償サンプル代収入	2,500	—
その他	295	394
営業外収益合計	3,071	2,006
営業外費用		
株式交付費	266	1,889
その他	173	—
営業外費用合計	440	1,889
経常損失(△)	△151,093	△82,311
税引前四半期純損失(△)	△151,093	△82,311
法人税、住民税及び事業税	478	478
法人税等合計	478	478
四半期純損失(△)	△151,571	△82,790

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△151,093	△82,311
減価償却費	1,743	1,026
受取利息	△280	△324
株式交付費	266	1,889
固定資産除却損	173	—
為替差損益(△は益)	△8	△65
たな卸資産の増減額(△は増加)	△61	△1
前払費用の増減額(△は増加)	△544	△1,016
未収消費税等の増減額(△は増加)	863	1,854
未払金の増減額(△は減少)	△9,896	△90
その他	△870	△1,499
小計	△159,708	△80,538
利息の受取額	248	170
法人税等の支払額	△829	△892
営業活動によるキャッシュ・フロー	△160,289	△81,260
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,100	△493
無形固定資産の取得による支出	—	△245
定期預金の預入による支出	△300,000	△600,000
定期預金の払戻による収入	300,000	200,000
差入保証金の回収による収入	—	121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,100	△400,616
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	13,558	403,914
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,558	403,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	65
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△147,822	△77,896
現金及び現金同等物の期首残高	340,276	243,823
現金及び現金同等物の四半期末残高	192,454	165,926

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社による第6回新株予約権の権利行使による増資があり、資本金及び資本準備金がそれぞれ160,810千円増加しております。

また、上記のほか、ストック・オプションの行使による増資もあり、当第2四半期会計期間末において資本金が1,530,272千円、資本準備金が1,520,272千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

新株予約権の発行

当社は、平成25年7月22日開催の取締役会において、第三者割当による行使価額修正条項付第7回新株予約権(行使指定条項付)の発行を決議し、平成25年8月8日に新株予約権発行の発行価額の総額の払込が完了しました。その概要は以下のとおりであります。

(1) 新株予約権の名称

株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所第7回新株予約権

(2) 新株予約権の割当日

平成25年8月8日

(3) 新株予約権の総数

20,000個

(4) 新株予約権の目的となる株式の種類及び数

当社普通株式2,000,000株(新株予約権1個につき100株)

(5) 発行価額の総額

38,700,000円(新株予約権1個につき1,935円)

(6) 払込期日

平成25年8月8日

(7) 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の総額

2,282,000,000円(※)

(8) 新株予約権の行使期間

平成25年8月9日から平成28年8月8日まで

(9) 資金調達総額

2,320,700,000円(※)

(10) 新株予約権の募集又は割当方法

野村証券株式会社に対する第三者割当方式

(11) 資金使途

- ① シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにおける研究開発資金
- ② 新規化合物の探索・研究のための研究開発資金
- ③ 緑内障治療剤バックアップ化合物の非臨床試験以降の研究開発資金
- ④ インライセンス資金(他企業からのパイプラインの権利獲得のための資金)

(※) 行使価額が修正又は調整された場合には、増加又は減少いたします。